

試料・情報利用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2020-1033	利用 形態	共同研究	利用する 試料・情報	対象:脳と心の健康調査参加者 約4,000人 試料:なし 情報:基本情報、脳MRI画像データ、既往歴	
主たる研究機関	東北メディカル・メガバンク機構			分担 研究機関	Imperial College London	
研究題目	東北メディカルメガバンク・UK バイオバンクにおける脳T1強調画像を用いた脳の老化・及び修飾可能因子の研究			研究期間	2021年2月～2024年1月	
実施責任者	麦倉 俊司	所属	東北メディカル・メガバンク機構		職位	教授
研究目的と意義	日本・英国の二つの集団における数千例の脳T1強調画像を用いて、脳の老化の指標の一つである脳体積に対する①加齢、②修飾可能因子(高血圧、糖尿病、脂質異常症の既往等)の影響についての共通点・違いを調べることにあります。					
研究計画概要	T1強調画像に対し、画像解析ソフトを用いて脳の体積を計算します。そして、脳体積と年齢・修飾可能因子の関連について調べ、日英間の比較を行います。					
期待される成果	・生活習慣のうち、どのようなものが脳体積に影響するかを明らかにすることで、高血圧、糖尿病、脂質異常症の予防となることが期待されます。 ・脳画像データ解析により得られた連続・名義変数(全脳・白質・灰白質・脳脊髄液体積等)については、広く利活用を推進するためデータシェアを予定しています。					
これまでの倫理 審査等の経過	2021年2月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認					
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	ヒトを対象とする医学系研究の倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理指針、ToMMoセキュリティポリシーを遵守して研究を遂行します。 データの解析は、それぞれ(東北メディカル・メガバンク機構スーパーコンピュータ、Imperial Collegeワークステーション内)で実施し、解析結果のみを外部へ持出で比較解析します。					
その他特記事項	科学研究費助成事業					
* 公開日	令和3年3月25日					